

# 交通事故防止対策優良事業場表彰を受賞して

東九州道（清武～北郷）椿山トンネル新設工事

株式会社大林組九州支店  
椿山トンネル工事事務所  
所長 後藤 隆之

## 1.はじめに

この度は、一般社団法人日本建設業連合会公衆災害対策委員会より、栄誉ある優良事業場表彰を賜り、誠にありがとうございました。これもひとえに公衆災害対策委員会交通対策部会の皆様をはじめ、発注者である国土交通省九州地方整備局ならびに関係各位のご指導の賜物と深く感謝申し上げます。

## 2.工事概要および周辺環境

本工事は、東九州自動車道において、国土交通省九州地方整備局の新直轄方式で建設が進められている宮崎県宮崎市清武南 IC から日南市北郷 IC 区間のうち、椿山トンネル(L=1,100m)を新設する工事です。

工事場所は宮崎市南端の山間部にあり、現場へのアクセス道路は、いわゆる峠越え道路のため、幅員は狭く、カーブも多く、すれ違い箇所も限られるような道路である一方、地元住民の方々の生活道路でもあり、その道を使っての残土や資材運搬となります。トンネル掘削ズリの場外搬出数量は 134,000m<sup>3</sup> であり、残土の運搬先は 10 か所以上、運搬距離が 30km 以上の場所もあり、1 日のダンプ台数は 50 台を超えた日もあります。

よって「交通災害の防止」を本工事の安全重点項目の 1 つとし、さまざまな安全対策を行い、近隣住民への配慮や関係機関、沿線近隣工事と



トンネル坑口周り状況

の調整を綿密に行って、工事を円滑に進めています。

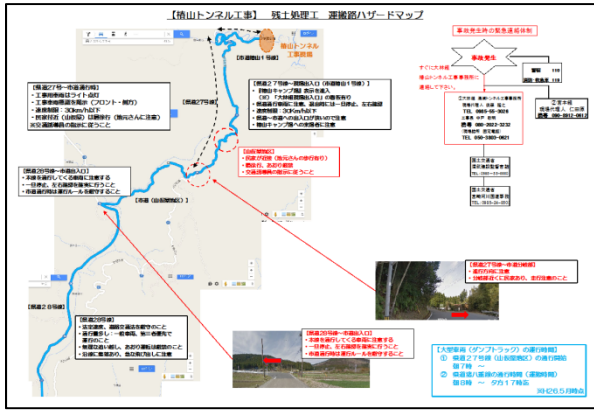
## 3.交通事故防止等に対する実施事項

### (1)ハザードマップの活用

本工事の残土運搬先は、近隣の他工事での利用であることから、その運搬先は 10 か所以上あり、また、運搬時期はそれぞれの工事の進捗等に依りて決まるため、日々運搬先が変わる状況です。

そのため運搬ルートごとにハザードマップを作成し、朝礼で当時のルートおよび危険か所の周知、確認を行っています。

また、毎日の運搬作業の中で運転手が新たに気づいた危険か所についても、積極的に報告があり、その都度、マップの更新を行い、周知するようにしています。



ハザードマップの一例

## (2)交通誘導員の配置

本工事場所は山間部にあり、狭隘な道路を利用しての残土運搬、資材運搬であり、見通しの悪い箇所が多く、また一般車両の通行も稀にある状況です。したがって交通誘導員を見通しの悪い場所に配置し、工事車両の通行の円滑化を図りました。

またルート上にはさまざまな安全看板を設置し、運転手への注意喚起および一般車両へのお知らせを行っています。



交通誘導員と安全看板

## (3)一人ATKY活動の推進

大林組では安全活動の一環として、ATKY活動（安全・点検・危険・予知の造語）と称して、一人一人が危険を予知し、安全を確認しようという活動を行っています。運転手には、例えば「出入口では必ず左右確認。そのとき指差

呼称で！」と推奨しており、その小さな活動が本人の習慣となり、他の作業でも活かすことができると考えています。



一人ATKY活動状況

## (4)速度超過防止対策

運搬先が多方面、長距離になり、運転手の慣れや油断による原因とする交通災害の発生のおそれがあるため、交通パトロールを強化することとし、パトロール隊員として、元請、協力会社および警備会社からそれぞれ1名、計3名を指名し、それぞれが運搬ルートのパトロールを実施して、その巡視結果は朝礼等で必ず周知するようにしています。

また油断等による速度超過を防止するため、速度測定器を導入し、抜き打ちでスピード測定を実施し、運転手の緊張感を持続するようにしています。

さらに全てのダンプトラックにドライブレコーダを搭載し、運行経路、時間、速度の管理に



パトロール隊員



外部講師による安全教育



安全教育受講状況



記録映画による安全教育

加え、トラブル時にも正確な情報を確認できる体制をとっています。また急ブレーキ等ヒヤリハット時の映像を保存することができるため、それを安全教育に活用しています。

### (5)安全教育の充実

当現場では、安全教育を毎月全作業員に対して実施しています。通常、講師は元請職員や店社安全担当者が勤めているため、内容がマンネリ化する傾向があります。そこで今回、安全衛生コンサルタント会社に依頼することとしました。

専門家であるので、講義内容は非常に充実したものとなり、また外部からの講師ということで、受講側も緊張感を持って講義を聴くことができます。例えば、毎月の安全目標を自分で決めて、その場で各々紙に書く、という講義などは、大変身になる内容だったと感じています。

### (6)近隣対応

本工事では現場周辺住民の皆様とのコミュニケーションを大事にしています。その例として、地元道路の簡易補修、草刈りや散水等による道路維持管理、地元主催の一斉道路清掃への参加、夏祭り等地元行事への参加、現場住民や小学校の現場見学会の開催、工事情報新聞の配布等を行っています。

これらの活動を通して、地元住民の皆様にご理解とご協力をいただいております、大変良好な関係を築いています。



現場見学会

## 4. おわりに

本工事は、平成26年2月の着工からこれまで延労働時間 25 万時間無事故無災害を継続しています。またトンネルは平成28年3月に無事貫

通を向えることができました。今後インバート工、覆工を行い、平成 29 年 3 月に竣工する予定です。

残り工事も一人一人が無事故無災害を達成するという強い意志を持ち、「安全には終わりはない。

いつまでも発展させよう！」を合言葉に、さらなる安全意識の向上、安全管理の充実に努めて行く所存です。今後とも関係者皆様の一層のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

〔 2016 年 2 月 22 日 優良事業場表彰式  
日建連 公衆災害対策委員長 表彰現場 〕